

# 古典テキストの 最前線

― 夢の書庫を開く ―

2025(令和7)年12月11日(木)  
13時30分～17時30分(受付開始13時)

会場：国文学研究資料館2階大会議室(東京都立川市緑町10-3) / ライブ配信

※現地参加は申込みが必要・ライブ配信は申込不要



【菓子話船橋】  
(国文学研究資料館所蔵)

ライブ配信はコチラから



主催 / 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国文学研究資料館  
後援 / 国立情報学研究所、Sakana AI、上代文学会、中古文学会、中世文学会、日本近世文学会、  
日本近代文学会、和歌文学会、人文科学とコンピュータ(CH)研究会、TOPPAN株式会社

聴講  
無料

# 古典テキストの 最前線

— 夢の書庫を開く —



『羅生門口語』(国文学研究資料館所蔵)



『八幡大菩薩御縁起』(国文学研究資料館所蔵)

## プログラム

13:00	受付開始
13:30-13:35	開会挨拶 渡部 泰明 (国文学研究資料館 館長)
13:35-13:40	人間文化研究機構挨拶
13:40-14:00	国文研 DDH プロジェクト現状報告 入口 敦志 (国文学研究資料館 副館長)
14:00-15:00	ライトニングトーク、ポスターセッション
15:00-15:10	休憩
15:10-16:10	基調講演：黒橋 禎夫 (国立情報学研究所 所長／京都大学 特定教授)
16:10-17:25	パネルディスカッション 【司会】菊池 信彦 (国文学研究資料館 准教授) 【パネリスト】 1. 小木曾 智信 (国立国語研究所 教授) 2. カラーヌワット タリン (Sakana AI リサーチサイエンティスト) 3. 相澤 彰子 (国立情報学研究所 教授)
17:25-17:30	閉会挨拶 岡崎 真紀子 (国文学研究資料館 副館長)

国文研DDHプロジェクトで形成する古典籍の電子テキストは、画像データと並んで研究者垂涎のデータベースとなるものである。それらが備わった夢のようなDB=書庫をどのように形成し、利活用していくのか。その最前線を紹介するとともに、データ駆動による研究の将来像を展望してみたい。

## 現地参加申込方法

事前申込 定員 **70名** (抽選)

申込締切日 2025年 **11月28日(金)**

お申し込みにあたっては以下の情報をご提供いただけます。

- ①氏名(フリガナ) ②電話番号
- ③メールアドレス

お申し込み  
フォーム



なお、お申し込みは、お一人様1回限りとさせていただきます。同時に複数名でのお申し込みは受け付けられませんので、ご了承ください。抽選結果は、申込締切後、12月5日(金)までにメールにてお知らせいたします。この日を過ぎても結果連絡が届かない場合はお手数ですが、お電話にてご連絡ください(当館からのメールが「迷惑メールフォルダ」等に自動的に振り分けられてしまうことがあります。届かない場合には、一度お確かめください。)

※この申し込みを通じて得た個人情報、当事業の連絡業務のみに使用させていただきます。※自然災害による交通機関等への影響が予想される場合は、本催しを中止することがあります。

## 交通案内

【会場】国文学研究資料館2階大会議室 (東京都立川市緑町10-3)



### ● 電車利用の場合

▶ JR立川駅下車、多摩モノレール立川北駅に乗り換え、高松駅下車、徒歩10分

### ● 立川バスの場合

- ▶ 「立川学術プラザ」バス停下車、徒歩1分 JR立川駅北口2番のりば乗車
- ▶ 「裁判所前」バス停下車、徒歩5分 JR立川駅北口2番のりば乗車
- ▶ 「立川市役所」バス停下車、徒歩3分 JR立川駅北口1番のりば乗車

お問い合わせ先

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
**国文学研究資料館**

☎050-5533-2910 Web: <https://www.nijl.ac.jp/>  
〒190-0014 東京都立川市緑町10-3 E-mail: [jigyoun@nijl.ac.jp](mailto:jigyoun@nijl.ac.jp)